



沖市東第5号
平成元年3月14日

沖縄県知事
西 銘 順 治 殿

沖縄市長 糸 江 利



沖縄市東部海浜開発計画に伴う

港湾計画の改定について（要請）

貴職におかれましては、日頃から沖縄県の港湾行政に対しご努力を賜り感謝申し上げます。

おかげさまで中城湾港の新港地区につきましても、工事着手以来、順調に建設工事が進められており、本市としてもこの新港地区の開発効果に大きな期待を寄せているところでございます。

さて、沖縄市は、都市の将来目標像として「国際文化観光都市」を宣言し、その実現に向けての条件整備を進めているところでございますが、近年、周辺市町村の都市整備に伴って本市の都市機能の拠点性の相対的低下が指摘されております。そのため市としてもこれまでいろいろな施策を展開してまいりましたが、依然として根本的な解決には達していないような現状であります。これまで沖縄市は、県下第二の都市、あるいは中部圏の中心都市としての役割を担ってきたが、今後ともこれらの要請に応えるためには、一段とその条件整備を強化する必要があります。

しかしながら、土地利用の面から沖縄市を捉えた場合、嘉手納基地という広大な米軍基地が市域面積の約38%を占め

ていることと、地形的にも起伏が激しいという制約条件があり、既存陸域においてはまとまった区域の開発は困難な状況にあります。

このような状況の中で、現在市においては、県立運動公園と泡瀬通信施設の間の公有水面を埋め立てて、本市の「国際文化観光都市」のめざす「交流」「観光」「文化」等の拠点形成を図るためのリゾート開発計画を進めています。

しかし、当開発予定区域は、現在沖縄県が管理する中城湾港の重要な港湾内に位置しており、この計画を推進するにあたっては、当該港湾管理者の港湾計画の改定が必要あります。幸いにして沖縄県におかれましては、平成2年度に中城湾港の港湾計画の改定が行われるということを聞きおよび、本市としても、何とかこの計画改定に間に合わせたく準備を行っているところでございます。

まず、市としては、昭和64年1月1日に、沖縄市東部海浜開発局の設置を行い、港湾計画の改定に向けての基本計画の作成や環境現況調査、ボーリング調査等の諸調査をはじめ、進出企業に対する進出意向調査、さらには漁業共同組合等をはじめとする地元コンセンサスづくりへの取り組みも進めています。今後、市としては、この東部海浜開発の実現に向けて、総力を結集し、沖縄県の計画改定につきましても、全面的な協力をしていく所存でございます。

つきましては、沖縄県におかれましては本市の東部海浜開発計画にご理解を賜り、中城湾港の港湾計画の改定にあたりましては、特段のご高配を賜りますよう要請致します。